

一般質問 (4)



新型コロナウイルス避難生活お役立ちサポートブック

新型コロナウイルス感染症の1日も早い終息を願う

遠藤 源太郎 (自民)

【質問】 新型コロナウイルス感染症の認識は。

【答弁】 中国武漢市で発生した肺炎の集団感染を契機に世界に拡大。不透明も多い。

【質問】 本市は感染者が多い。医療従事者に偏見はないか。

【答弁】 都の発表は自治体名だけで詳細はわからない。保育園等での偏見はない。

【質問】 具体的に市内で発生した場合の対応は。

【答弁】 保健所が疫学調査を行い、拡大防止策をとるが、本市でも防止態勢をとる。

【質問】 教育現場も徐々に日常を取り戻しているが、第2波が予想される。備えは。

【答弁】 手洗い、マスク着用、分散登校、ソーシャルディ

スタンスの定着等、家庭と連携し対策をとっている。

【質問】 3カ月の休校と学習の遅れ、行事への対応は。

【答弁】 休校中は児童生徒の学習意欲を喚起するため教師からの声かけ、基礎的・基本的な内容を身につけさせることを優先した。行事は安全第一で検討する。

【質問】 徳洲会病院南西角付近は、南北道路に東西道路3本が交差し、とりわけ自転車歩行者道には「止まれ」の標識がなく頻繁に飛び出しがあり非常に危険だ。

【答弁】 路線バス、工事車両の出入りもあり、東京都や田無警察と協議を行い、安全対策を検討していく。

コロナ禍での防災対策を万全に児童生徒へ、丁寧な心のケアを

田代 伸之 (公明)

【質問】 コロナ禍での災害に対応するため避難所の拡充を検討すべきと考える。

【答弁】 学校に対しこれまでの想定以上に利用可能な教室活用の検討をお願いしている。

【質問】 避難所での感染防止

対策として、段ボールベッドなどの備品整備を進めるべきと考える。

【答弁】 必要となる資機材導入の検討を進める。

【質問】 白子川周辺地域の安全安心を守る溢水対策を強

新型コロナウイルスの影響を踏まえた今後の対策を！

大林 光昭 (公明)

【質問】 行政防災無線の開こえを補完するため、防災ラジオ、戸別受信機を導入すべき。また、避難所運営協議会など避難所開設にかかわる方々の衛生用品を開設事務用品として配備すべき。

【答弁】 低価格の防災ラジオ

導入の検討が可能となったため、手法を検討する。避難所運営協議会委員等のマスクや消毒液など衛生用品を開設事務用品に加える。

【質問】 ひとり親世帯の貧困率は5割を超えており、養育費不払いがその一因とされるため、東京都が養育費確保支援事業を創設した。本市でも制度を活用すべき。

【答弁】 東京都の制度創設は認識している。どのような対応が可能か、検討したい。



コロナ禍「誰も自殺に追い込まれることのない地域づくり」を急げ

藤田 美智子 (公明)

【質問】 令和2年度より白子川上流6号雨水幹線の延伸に必要な管渠埋設工法や縦断計画を検討し進める。

【質問】 児童発達支援センターの今後の方向性を伺う。

【答弁】 令和2年度は運営に関する方針を取りまとめる。

【質問】 健康応援都市の視点で、まちなかへのベンチ設置を進めるべきと考える。

【答弁】 引き続き調査を進める。設置場所について、残地活用も含め研究する。

【質問】 学校再開後、児童生徒に対し丁寧な心のケアを。

【答弁】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと教員が連携し、心のケアを行う。

【質問】 未来を生きる子どもたちのため、GIGAスクールの早期導入をすべき。

【答弁】 実現に向け検討する。

【質問】 学校休校に伴う給食休止で多数の相談をいただいた。子どもへの食の支援、見守りを強化すべき。

【答弁】 子どもの見守りと食の支援を一体的、継続的にできる仕組みを検討したい。

【意見】 感染への不安など多数の声をいただいた。高齢者等が身近で気軽に健康相談を受けられる体制を整備すべき。

多くの事業者が新型コロナウイルスの影響を受けている。運転資金融資あっせんや飲食店、理美容店等で広く利用可能な商品券などの消費喚起事業を実施すべき。

【質問】 平成29年7月に国は自殺対策の本質が生きていることへの支援にあることを打ち出した。コロナ禍で見通しが立たない状況は、生きていることを阻害する要因であり、強い危機感を持って対処する必要がある。自殺に追い込まれることのない地域づくりはどう取り組むのか。

【答弁】 感染症を受け、就労・収入・健康・子育て・学業等、要因が重なる状況が想定され、全庁的に意識すべき課題。電話相談を積極的に周知し、心の悩みの相談をより丁寧に行う。

【質問】 地球温暖化対策に「食品ロス削減の推進」が示された。コロナ禍で食品の買いだめが起り、今後、大量廃棄の可能性もある。一方で深刻な生活困窮も心配される。食べられる食品を必要な人に届ける仕組みを早急につくるべきと考えるが、見解を問う。

【答弁】 住居確保給付金の相談は年20件程度だったが、4月、5月で既に289件の申請がある。コロナ禍の対応として、家庭で余った食品を必要としている方に届け、食品ロスの削減を図る。

【意見】 家庭の食品ロスを減らし、必要な人へつなぐ。低コストでできる地産地消の社会貢献「フードドライブ」の仕組みづくりを早急に検討すべき。

新型コロナウイルス感染症対策で公明党は6度の緊急要望を提出！

佐藤 公男 (公明)

【質問】 10万円の特別定額給付金は本当に困っている方にいち早く届けるよう要望した結果、家賃の支払いが困難な方に対する住居確保給付金申請者がその場で申請できるようになった。申請数はどの程度あったか。

【答弁】 4月5月で、住居確保給付金申請者289件のうち特別定額給付金への案内は24件となった。

【意見】 1人で申請が難しい高齢者等への支援を求める。小中学生へ図書カード配布

【質問】 市内小中学生へ2千円の図書カードを配布する際に、学年ごとの良書を紹介してはどうか。

【答弁】 学習支援の一環として

【質問】 新所沢街道整備に伴い西原自然公園通り等3カ所に信号機の設置を求める。

【答弁】 警視庁等に要望する。

【質問】 ホームセンター開店に伴い、警備員の配置等、交通安全対策を求める。

【答弁】 課題があれば、警視庁に伝え改善を求める。

市長を先頭に新型コロナウイルス対策に全力を！

小幡 勝己 (公明)

【質問】 なぜ西東京市は感染者が多いのか、退院数も表示せよ、率直な疑問。

【答弁】 多摩26市で高いと認識している、市民の皆様への命と健康を守る覚悟、さらに感染防止に取り組む。

【質問】 障害者の方が感染した場合1人で生活できない、対応に全力を尽くせ。

【答弁】 保健所が個別事情に応じて入院調整。家族感染は医療機関でサポートする。

【質問】 今こそ、子どもたちを励まし、褒めていくことが大切。教育長の見解は。

【教育長】 約3カ月間の外出自粛により自宅での日々が続いた。さまざまな不安やストレスを感じさせてしま

て児童生徒に有意義に利用してもらえよう取り組む。市民の活動場所の確保拡大

【質問】 公共施設の再開に当たり、施設の目的外利用をできることから早急に進め、活動場所を拡大せよ。

【答弁】 早期の取り組みが可能な施設から試行的実施を視野に進める。

【質問】 新所沢街道整備に伴い西原自然公園通り等3カ所に信号機の設置を求める。

- ◆施設への感染防止対策
- ◆弱者への感染防止対策
- ◆自粛後の通学路安全対策
- ◆新型コロナウイルス詐欺等の防止
- ◆乳幼児健診感染不安対応
- ◆里帰り出産の不安対応
- ◆行政のオンライン化推進
- ◆9月入学の見解
- ◆ネット、SNS被害